



筆順部首
机上漢和辞典

改訂新版

秋山茂
今井宇三郎
尾閔富太郎
坂本博司
共編



秋山 茂
今井宇三郎
尾閑富太郎
坂本博司
共



東京 謹文堂新光社 発行

この辞典の構成とひきかた

一 この辞典の構成

この辞典の構成は、つぎの三部にわかれ、それぞれの部が一ページから始まっている。

① 前づけの部（一一一四四ページ）この辞典の構成とひきかた・

音訓索引・総画索引

② 本文の部（一一六七八ページ）漢字の親字とその解説・親字

で始まる熟語とその解説・逆熟語

③ あとづけの部（一一一〇六ページ）。巻末を一ページとし、逆に巻首に向かってページをつけた。旧部首総索引・読みにくい人名表・続みにくい地名表・当用漢字表（人名用漢字表つき）・教育漢字学年別配当表・中国簡体字表・筆順の原則

親字

1 本文の親字は筆順部首（巻頭の表紙裏にある「筆順による部首索引」を見よ）に従つて、□、□、□、□、□の順に配列し、□の中は、「、」、「、」、「、」、「、」……の15部首が画数順に配列されている。□以下についても同様である。

同じ部首内の親字は、画数順に、同じ部首同じ画数の親字は、つぎの順序に従つた。

① 教育漢字：昭和二三年内閣告示第一号「当用漢字別表」の

漢字八八一字と、昭和四三年文部省告示第二六八号によるその追加漢字一一五字。

② 当用漢字：昭和二一年内閣告示第三二号「当用漢字表」の漢字一八五〇字から教育漢字を除いた漢字八五四字。

③ 補正案漢字：昭和二九年「当用漢字表審議報告」によつて追加（二八字。ほかに字体変更の「灯」を含む）または削除（二八字）を指定された漢字。

④ 人名用漢字：昭和二六年内閣告示第一号「人名用漢字別表」の漢字九二字。

その他の漢字。

国字：日本で作られた漢字。

⑦ ⑥ ⑤ 重出漢字：部首や画数を誤りやすい漢字を、その誤りやすいところに、旧字体をその旧字体の部首画数のところに活字を親字よりやや小さくして掲げ、正しいページを示したもの。右の①～⑦の内部では、字音の五十音順に従つた。

2 当用漢字で、新字体の親字については、（）のなかに旧字体を掲げ、旧字体はその部首画数のところに重出させて、新字体のページを指示した。

3 それぞれの親字の上に総画数を掲げ、教育漢字、当用漢字、補正案漢字、人名用漢字の別を示した。

4 それぞれの親字の下に、その字の音（カタカナ）と訓（ひらがな）を、現代かなづかいで示し、（）の中に歴史的かなづかいを示した。また、活用語尾・送りがなは（）によつて分けた。昭

和四八年內閣告示第一号「当用漢字音訓表（本表）」（補正案の追加・削除を含む）に掲げられている音訓は特に、太字で示し、特別なもの又は用法のごく狭いものには傍線をつけた。

5

親字の解説では、音あるいは意味の上で、系列の異なるものを□□□で区別し、訓あるいは意味の類別を①②③…で示した。親字の解説では、おもな訓を太字で示し、同訓の漢字についてその異同をしらべ、略字、古字、異体の同字、書きかえ字などについては注意の項で略述した。

6

熟

語

1 熟語は、親字を第一字めにもつものを、その親字の解説と一緒に掲げたが、配列はつきの基準に従つた。

2

第二字めの画数順

順

3 熟語は、第二字めが同画のばあいは、第二字めの五十音順に従う。

4

第三字め

順

5 第二字めが同画のばあいは、第三字めの画数順、その

6

第三字め

順

6 第二字めが同画のばあいは、その五十音順に従う。

7

第二字め

順

7 第二字めが同画のばあいは、第二字めの五十音順に従う。

8

第二字め

順

8 第二字めが同画のばあいは、その五十音順に従う。

9

第二字め

順

9 第二字めが同画のばあいは、その五十音順に従う。

10

第二字め

順

10 第二字めが同画のばあいは、その五十音順に従う。

4 熟語の読みは、音をカタカナ、訓をひらがなで示し、現代かなづかいによつた。

5

熟語の解説で、読みの異なるものは□□…で区別し、意味の異なるものを①②③…で示した。

6

熟語の解説が①②③…にわかるばあい、全体に関する同訓

は、解説の文頭に、①②③…のそれぞれにだけ関係ある同訓

は、①②③…それぞれの文末においた。

7

解説の中で読みにくい漢字に「ふりがな」を施したが、その表記は旌幟サイ・識のよう、縦書き二行方式を用いた。したが

がつて、山車じは、「しだ」でなく「だし」である。

8 逆熟語（親字が最後にくる熟語）は、主要なものを熟語配列の

末尾に掲げ、その順序は、第一字めの画数順に従つた。

9 外来語については、解説のおわりにその原語を掲げた。

記号・符号

この辞典に用いたおもな記号・符号はつきのとおりである。

教

教育漢字

當

当用漢字

補

補正案漢字（加は加えるもの、削は削除するもの）

慣

慣用音

國

日本独自の読みかた。日本独自の意味に使うもの

注意

注意すべき事項

人名

人名に使う読みかた

唐

唐音

漢

漢音

吳

吳音

(同)…同義語(同じ意味をもつ語)	(イ)…イタリア語
(対)…反対語(反対の意味をもつ語)	：外国語の下に記号のないものは英語
(類)…類語(同類の意味をもつ語)	
(仏)…仏教で特に用いる語	
(フ)…フランス語	
(ド)…ドイツ語	

(動)…動物
(植)…植物
(化)…化学

付 錄	読みにくい人名表	読みにくい地名表	当用漢字表(人名用漢字表つき)
4 教育漢字学年別配当表	5 中中国簡体字表	6 筆順の原則	

「隹」の位置は容易にわかる。さらに、誤りやすい画数、十二画の欄にも「進」を重出し、利用の便をはかった。
3 「音訓索引」によるひきかた：「進」の音「シン」訓「すすむ」によつて「音訓索引」の「シン」もしくは「すすむ」の項目を見る。「音訓索引」は五十音順になつてるので、容易にひくことができる。

4 「旧部首索引」によるひきかた：「進」の旧部首「しん」により、「辵」(辵・辶・辵)によつてひくばあいは、まず卷末表紙うらの「旧部首索引」で「辵」をひくが、そのページ数(三三一ページ)は卷末を一ページとする「旧部首総索引」のページ数であるから、これによつて「旧部首総索引」中の「進」をひき、同時に本文におけるそのページ数を知ることができる。

注 意

- 二 この辞典のひきかた
- 教育漢字「進」を例にして、この辞典のひきかたを述べる。
- 1 「筆順による部首索引」を使うひきかた：「進」の筆順は、「辵」(辵・辶・辵)であるから、卷頭表紙うらの「筆順による部首索引」から大部首「辵」を、さらにそのなかで「進」に最も近い部首「隹」(五九九ページ)をひき、その十一画を見る。
- 2 「総画索引」によるひきかた：「進」は十一画であるから、十一画の欄で部首「隹」の項を見る。同画内の漢字の配列は、「筆順による部首」の順序に従つてるので、ひきなれると、

- 1 「ネ(しめすへん)」は、当用漢字(教育漢字を含む)、人名用漢字に限り「ネ」を使い、その他の漢字は「示」を使うので、たとえば教育漢字「神」は大部首「口」のなかの「ネ」の部第九画、当用漢字(教育漢字を含む)、人名用漢字以外の漢字「祇」は大部首「口」のなかの「示」の部第九画に属する。
- 2 戸(とかんむり)は、当用漢字(教育漢字および補正案漢字を含む)、人名用漢字に限り「戸」を使い、その他の漢字は「戸」を使つて、たとえば教育漢字「所」は大部首「口」のなかの「戸」の部第八画、当用漢字(教育漢字および補正案漢字を含む)、人名用漢字以外の漢字「扁」は大部首「口」のなかの「戸」の部第九画に属する。

あきなう

顯瞭叢燉詮煥晶暫皎晤晃耿哲曷昭炳炯亮明灼賈貿商估賈
四三六六二九三三八八九九四二七六三五三四一五二七二五三三九二九一三四

あく アク あきんど あきれる あきらめ あきらか

23 20 19
空醒搵幄握惡渥啞輒堊惡扼賈商憫呆饜厭飽諦諒
六三六三三五二九九三四二一三三二五三九一九六二三三四四四五四三

三七〇九七〇六四四三〇七四九五二三三一六七 三〇三
あくび あくる あくた あくびる あけ あけつらう あけぼの
あこがれる あご あげる あける

憚顎頷腮蹠翹舉稱揚称拳抗上開明空曙論赤朱明欠芥開明

四一三 四四六 二三四 四五六 四一四 四七六 二〇三 三三五 二二二 六二 四一三 四四六 三六〇 二四五 四七 五七二 二五八 五七三 四七 二一八 四〇四 五六六 五一七 四〇三 五七

あごひげ
あこめ
あさ
あさい
あざける
あざな
あざなう
あさひ
あさみ
あざむく
あきめし
あさやか
あさる
あさわらう

晒漁鮮 檻裏謾 詭詐欺 菊加糾字嘲淺淺 痘字朝麻姑須憶

預味待筍跖蹇晨旦驩別別桎跼躑躖味蘆葦脚趺跰足正止喘

三九九	あずかる
三六一	あずける
三六〇	あずさ
三九四	あずま
三九五	あせ
五六四	あせみち
五六一	あせる
五六二	あそばす
四五四	あそび
四一二	あそびめ
四一七	あそび
七四	あそぶ
三九六	あだ
五八三	六二五
五四三	三九二
五八二	六二五

仇邀游遊敖娼遊遊焦褪陌阡畔校汗東梓預關閨與參參干与

一四六
一九八
六五三
一四六
一九九
六二五
一六四
七五
二九四
四二八
六四三
六四四
一三二
六〇〇
三二一
六五九
三一〇
三二一
九七一
二二七
四八三

あたたかい
あだする
あたたか
あたかも
あたう
あたえる
あたい

暗暖煖溫陽溫暖溫溫竅恰宛與付予与能價值價直沽估讎竅

7 音訓索引（あやーイ）

あやかる
あやぎぬ
あやしい
あやうい
あやしむ
あやつる
あやまち
あやまつ
あやまり
あやまる

斐綉彰綺綵殆危險險殆肖綵妖異怪操過失過訛謬誤

あらう あらい あゆむ

愆謝繆謬鮎新步荒笨疎暴驪洗沐洒浣澣澣盥鹽灌

あらうま
あらかじめ
あらがね
あらし
あらす
あらす
あらす
あらそう
あらた
あらたま
あらため
あらためる

あるいは ある ありづか あり ある あらわす あらわに あらわれる あらわと あられ

或有存在姪蟻顯露顯彰現著昭表見形陽現著旌表霰霄礪

三九	あるく	あれ	あれ	あれ	あわ	あわい	あわせ	あわせる	あわせし	あわてる	あわび	あわれ	あわれむ
三八	三七	三六	三五	三四	三三	三二	三一	三〇	三九	三八	三七	三六	三五
三七	三六	三五	三四	三四	三三	三二	三一	三〇	三九	三八	三七	三六	三五
三六	三五	三四	三四	三四	三四	三三	三二	三一	三〇	三九	三八	三七	三六
三五	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三九	三八	三七	三六	三五

哀哀餽鮑饗遽慌慌勦併合褶衿合澹淡梁粟沫泡蕪荒荒步
三四三四六六六六五五五五四五三三三二二二二一〇五九三〇〇〇三三四八三三三三五三五三五二

あんず アン

1

姨食韋畏胃威漸施為委依易怡矣位圃医伊夷衣台以已

六二六
三五五
六五三
一八一
一六一
一六〇
四八八
一九七
三七三
四八八
六五三
五一
四八八
四一三
四九三
五七〇
四
二四四
八五
一八九
四三八
四三八
四五二
四五一
六一〇
六五七

13 12 11 10
違葦意遙偉貽圍椅欹萎渭爲尉移猗蛇異唯帷瘼惟姬倭倚患
置三三五四四三九三六六三九六四空五七三五三三四三九三六二云西空五二五二六

22	21	18	17	⑥	16	⑥	⑥	15	⑥	14					
蘭	豬	豕	亥	井	懿	饋	彝	醫	鮪	縕					
一 三 四 二 七	一 六 三 九 三	一 三 九 三 九	二 六 三 六 一	六 一 九 七 一	六 二 五 五 七	六 七 五 五 七	四 〇 三 三 七	六 三 六 三 六	四 〇 一 〇 〇	四 三 六 一 七	蔚	頤	維	臺	飴
い か で か	い か だ	い か ず ち	い か す	い おり	い おう	い える	い えども	い えがら	い え	い え	う	い	い	つけ	

翼鬪翌域或杙弋奈	せん	奈奈嚇瞋憤愠欵艷恚怒忿怫錨碇怒爭
六三〇	四四九	六一九
六三八	三〇八	六一六
六六六	六九六	六一六
六三〇	四〇三	六一六
五七五	五七五	六一六
六三三	六〇六	六一六
五七〇	五七〇	六一六
六一六	六〇六	六一六
五七一	五七一	六一六
五五七	五五七	六一六
五五五	五五五	六一六

生息権勢活育郁粥澳行幾軍師戰艦艨艟幾何弋

9 音訓索引（いそがしいーいむ）

いそぐ いたい いたく いたむ いたみ いたぐ いたずらに いただき いたす いたぐ

悼慘俑怛忧痛馳戴頂巔顛頂徒輸致効懷擁懷抱痛痛板急惄
吾吾四九七五五二三六五五二七八二四〇九三二七二四六一六九三五三三五五二四九二二六云云云云云云

いためる

摯詣造訖格届戾到放迄戾至至傷痛隱愍慘傷愴痛惻戚悵懼

イツ いちじる いちご いた いたわる

いつわる いいつつ わり いつくしむ いくしみ いくく いつく いつき

いと
いとう
いとぐち
いとけない
いとなむ
いとま
いどむ
いな
いなが
いなだ
いなま
いなご
いなずま
いなく

嘶鰐電蝗坐稻稻否挑遑暇營營冲緒厭縷縉綸絲絃糸謫繆矯
四一六二五三四五三五七五七五二六一五二〇三四四六四四九三
六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六六

ばら のる のりの のりち ののち ののち
ら る し し し し し し し し し し し

否古犬戌乾禾稻稻穆豕豕家猪猪命祈禱祈禱祈禱祈禱荊棘

いいひき
いま
いましめ
いましめる
いいます
いまわしい
いまだ
いまみ
いまみな
いまみ

いらか
いらだつ い よ い よ い や す い やしめる やしくも もうと もむし もうし
い も

諱芋妹薯諸妹蜀俗俚陋鄙賤卑卑醫療逾彌彌彌荅

いわ いろり いろどり いろどる いわ
い ろ い ろ い ろ い ろ い ろ
わ り ろ ど り ろ ど る り わ

い わ ん や い わ し い わ く い わ お い わ う
ン ん ゃ シ ク オ ウ ォ

殷員茵姻胤咽音印因允引尹矧況窟鱗鰐曰巖巖賀祝祝巖巖
四〇九 二三 一二三 一二三 一二三 一二三 一二三 一二三
六二九 四一 四〇九 四一 四〇九 四一 四〇九 四一
六一六 六一六 六一六 六一六 六一六 六一六 六一六 六一六
六三〇 六三〇 六三〇 六三〇 六三〇 六三〇 六三〇 六三〇
五五八 五五八 五五八 五五八 五五八 五五八 五五八 五五八
三七〇 三七〇 三七〇 三七〇 三七〇 三七〇 三七〇 三七〇
三九三 三九三 三九三 三九三 三九三 三九三 三九三 三九三
四六六 三三七 三三七 三三七 三三七 三三七 三三七 三三七

ウ インチ

六四四
七〇
九三六
六四六
九三九
三二三
六二一
九二九
三一〇
六五〇
二六九
四六九
六五〇
三六〇
四五一
三五〇
六八九
三九九
六四九
三二〇
六四九
三九五
三三三
六六六
九六六
七〇
六四四

歐歐憂憂媼媼鳴鳴雩雩烏烏祐祐紓紓禹禹胡胡祐祐宥宥雨雨孟孟歐歐歟歟於於佑佑迂迂羽羽吁吁芋芋有有汚汚

種蒔植執飢栽芸殍栽筌上饑饉餒餓飢初憂外鶴卯齧謳甕
五七三三元三六二二三三三三五八三六二六二六二三七五三二三三三三一九

11 音訓索引（うかるーうない）

うかる
うまれる
うき
うきくさ
うぐいす
うけ
うけたまわる
うける
うごかす
うごく
うごめく
うし
うさぎ
うさぎうま

牛驢免蠶蠕動盪撼蕩動饗請稟承受奉享承受鶯浮萍浮浮受

五四五 八八 三四三 四四一 一一一 五五六 五六一 二七九 五五四 大二〇 三四三 二六三 一〇五 四六七 四三九 二八〇 三四〇 四五五 五五六

うす うす うす うす うす うす うし うし うし うし うじ

づくたかい くまきぬ い ろ なうとら お

南投縣南澳鄉萬芳造像泥塑藝術中心

眷堆蹲跼疼羅紗薄非淡桃渦確臼後背喪逸失亡良潮蛆氏丑
三三四四二四六三三一四一三五五二二五四一六二四五六

たう たい すま すめ ずら すれ そぶ た

く る く る る

誦歌詠唱咏欧吟謠謠謠謠歌詠唄吟嘯嘯薄薄鶴墳埋薄薄

ウ う う
ツ ち ち う う ウ
 ち ち チ う う う
 た た た う う う
 た た た

たがわ
たがう

くは しい

蔚桂補裏衷中內打鬱轉転疑宴疑疑嫌貳猜式疑謔謠謠歐嘔
元二月二日二月二日二月二日二月二月二月二月二月二月

九九
九七
九五
九三
九一
八九
八七
八五
八三
八一
七九
七七
七五
七三
七一
六九
六七
六五
六三
六一
五九
五七
五五
五三
五一
四九
四七
四五
四三
四一
三九
三七
三五
三三
三一
二九
二七
二五
二三
二一
一九
一七
一五
一三
一一

廢撻搗整撲歐歐擣搏搭討格格征拊拍歐歐扑批伐扑打鬱歎

うう うう う う

すし し くし

る い

訟訴謄遷寫摸鈔移映抄寫副寫婉窕娟窈妍美佼佳擊擣

وَالْمُؤْمِنُونَ إِذَا قُرِئُوا إِذَا قُرِئُوا قَالُوا هُنَّا مُؤْمِنُونَ

影祐祐祐臺尊台聯器轉遷宣移往軒映宮殿勤勤醫理詳朔訴

うながす
うなじ
うなぎ
うなずく
うなり
うなる
うね
うなずく
うばう
うぶ
うべなう
うま
うまい
うまかい

占ト占卦	怨恨快	怨恨惱	羨恨憾	麗弁并瓣耀	市壳估沽
三五云一	五六三	五三三	五五五	四五三	三二四
云五三	六三三	六三三	六六三	七三三	九三三
云一三	六六六	六六六	六六六	六六六	六六六
一三三	六六六	六六六	六六六	六六六	六六六

淮迴惠迴歪依会回衣回也
三七一六九六八二九三五二七三六一七三六一七

植芸云耘恨烟量細鈎頭

惠限會繪懷鴉鞋慧漬懷穢銚衛衛兄繪懷穢銚江囝柯柄重茲畫圖

15 14 13 12 10 9 8 7 6 5
 頓影螢睿熒榮螢裔景詠嘗盈郢映柵洩榮咏英泄泳医曳永餌
 五三二九一三六二七二八三七九四三五九三四二六七三三三三三三三三
 エキ えがく

10 9 8 7 6 23 20 19 18 17 16
 益疫弃奕易役亦畫描画纓瀛瀛醫嬰寢翳營衛衛穎叡殼繁銳
 三五五三三四四五二五六七四六九〇四五三五九四六西西西西西西西西
 エチ えださ えぐるば

23 20 19 16 14 12 11
 悅軋條枝朶条餌剔剝抉醫驛釋譯錫懸駅腋釈訣掖液射益
 五三二九一五五三六四六天六云六五三五三六七七五五五五五九九九
 エビス えび えのき エツ

蕃蛮胡戎夷蝦蝦榎胞體謁閱喧謁說鉄越悅咽戌日謁閱謁
 三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
 エン えり えら
 えら えら えら えら えら えら えら えら えら えら えら えら

延奄炎沿宛円獲得襟領衿簡簡擇選撰銓揃掏搥偉鰐笑簾蠻
 四六二二七空三五西三三五六一五五二四六二六二五五五五五五五五
 エン

12 11 10 9
 壇焰淵婉偃掩筵焉淹惋娟院俺殷員捐袁宴冤爰衍怨咽苑垣
 三二九六五三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
 エン

17 16 15 14 13
 檻鶯閣圓燕緣豌蠶演鉛筵猿罋圓遠塩煙羨媛擾據援
 三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
 エン

お

才

えんぐみ
えんじゅ

六

31 25 24 23 20 19

芋阿尾小鳴惡區惡淤烏於污区

槐姻燭鹽艷饜臙嚙艷轅

一九六
七五
三三
四六六
九三
一七〇
一九六
一七〇
三九八
三八一
六三三
六四三
三二六

三四七
三八一
四〇四
五六八
一九三
三八一
二二三
一〇七
六五七
三〇一

おい
おいかけ
おいて
おいばれ
おいる
オウ

拗押歟快邑庭忬汪凹央庄王区老耄於于綾甥笈老緒御雄
五西九元五元六二七三五三六六元三三二九六四六二七五元

お	お	お	お	お	お	お
お	お	え	る	う	う	う
い				な	ち	ぎ

卷之四

師多大終嫗嫗擣特扇逐負追生鸚鵡鷗櫻鶯鑿謳襖甕壓牋
四六五三六六六五三〇三五七三一七三五三一四六四四二一五
二八七三九一三三九一三〇四二一九八二九四二一三〇二四二
一四二三三九一三三九一三〇四二一九八二九四二一三〇二四二
十八十七九十八七九十八七九十八七九十八七九十八七九

おおかみ　おおがい

おおいに
おおう

浩彥宏丕巨元大狼貢覆蔽蔭蒙蓋屏掩被冒奄庇大覆蔽黎衆
八九〇 一九〇 二六二 二五七 二五六 二四七 二六四 五五二 一六六 三三九 三三六 三三四 三三三 六三五 三五六 二九 四五二 二六八 二〇八 三四 三四 三九 七六 四六八

おおごと
おおすっぽん
おおせ
おおづな
おおとり
おかげ
おか
おおやけ
おかす
おおみず
おおむね

犯千虛陵陸虛阜岡京丘公概概率約洪鵬鴻鳳凰紜仰鼇瑟碩
西八一九八三三六四七六六三三六三三二〇三六五二五五
三三〇三五八五五九二五五六五五六五五五

おく オク おきる おぎなう おぎな おきて おぎ おがむ

奸冒侵拜拏冲冲澳荻法禁捉叟翁叟補裨起沃屋憶億奧舍

15 音訓索引（おく－おちる）

おく	おくがき
おくび	おくする
おくみ	おくかい
おくらす	おくりな
おくる	おくり

歸贈輸遺腰貽歸送謚送遲遲糸邃噫臆跋奧釋擗錯置枳措居

六三三
五九五
四三一
六〇五
二六三
五九五
四六八
三九七
五六七
四〇三
七四
二三九
六三五
六三五
三三八
八
四
四三九
五六六
四〇〇
三〇六
二〇〇
一〇〇

おくれる
おけ
おこす
おこす
おこそか
おこり
おこり
おこり
おこり
おこり
おこり
おこり

侈癟行懶懈慢惰怠儼嚴嚴莊莊興起槽桶遲遲後饋餼餽贈贈

四四〇 四四一 四四二 四四三 四四四 四四五 四四六 四四七 四四八 四四九
四四〇 四四一 四四二 四四三 四四四 四四五 四四六 四四七 四四八 四四九

おれ おれ おれ おれ

綜率師曾孟長伯令驕僭傲奢倨侈汰夸興怒煽發發作起奢

二六八
二〇七
四八九
六三二
六二一
二一九
五六七
五五九
二六七
七八
四九四
五〇〇
二六八
五〇五
五七
五〇六
四五五
五一
四九〇
四四一
大四二
五二〇
四六六
三〇〇
六七三

おきいと
おきいと
おきいと
おきいと
おきいと
おきいと
おきいと
おきいと
おきいと
おきいと

おしむ おしどり おしえる おいしい おじ おし おし

四 六九
五九九
五六六
三一〇
五一七
一七七
三六六
一八七
一四八
一八七
一八五
三九四
三九〇
四九〇
三九三
五四
一〇六
三一六
一〇八
三一四
三一八
三〇〇
一一〇
五九

おす
おそい
おす
おそらくは
おそう
おそれ
おそれる

恂怕忧怯怖虞恐襲遲遲晏雄壯擠壓厭掠推押壓慳愛嗇惜

五四 一八五 五五 五七 一八七 三四八 三四五 三五七 一九三 一八七 二六三 五六一 一九六 一九九 一八四 六三五 四一 三三〇 三六五 三六六 五一 五一 五一 五一

おちる	おち おちいる	オチ	おそわる おだやか	おそろしい
-----	------------	----	--------------	-------

四三八 三一〇 五三 四一〇 五五 三三 五六 五六 五七 八一 五九 五九 二六 四六 五七 六〇 八一 一〇〇 一〇〇 二二 二二 一〇〇 一〇〇 六四五 六四五 六三九 六三〇 二〇〇 六四八 三五三